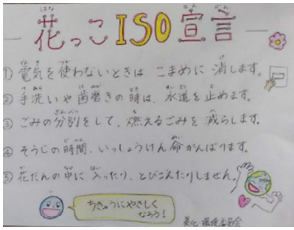
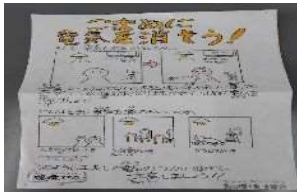


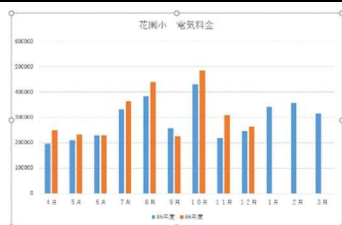


令和6年度（2024年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：宇土市立花園小学校 >

2 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		① 電気を使わないときは、こまめに消します。 ② 手洗いや歯磨きの時は、水道を止めます。 ③ ごみの分別をして、燃えるごみを減らします。 ④ そうじの時間一生懸命がんばります。 ⑤ 花だんの中に、入ったり、とびこえたりしません。
行動	 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを作り、全児童の節電・節水の呼びかけをした。 ・使用した習字紙など個人のごみは持ち帰るようにした。 ・校内で出た資源ごみは、職員室前で分別した。 ・清掃時はバケツの水を利用して雑巾を洗うことを指導した。 ・ごみ拾いや落ち葉掃きを行い、校内美化作業に努めた。 ・美化環境委員の児童を中心にボランティアを募り、昼休みにごみ拾いや校舎の清掃を行う「フラワーガーデン Clean 隊」の活動を行った。 ・エアコンのフィルターを定期的に清掃した。
記録		<ul style="list-style-type: none"> ・週2回のごみ収集では、校内放送で結果や気づきを全校児童に知らせることで意識付けをした。 ・月ごとの電気代、水道代をグラフ化し掲示することで、全校児童及び全職員に周知し、節水・節電の意識付けをした。
見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・電気代が前年度に比べて増加している。再度節電の意識付けが必要である。 ・ポスターを掲示するだけではなく、定期的な呼びかけや結果の分析、共有を行い児童や職員の意識を持続できるような取組が必要である。

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>美化環境委員の児童を中心に環境保全活動として、飼育栽培委員と一緒に清掃活動をした。それぞれの委員会の視点からの気づきを元に、協力して昼休みの校内清掃に意欲的に参加する児童が見られた。美化・環境保全のために自ら行動しようとする意識の高まりが感じられた。</p>	<p>学校版環境 ISO 宣言については、目標を設定するだけではなく、児童や職員が定期的に達成状況を振り返る機会を設ける必要がある。また、少しではあるが電気が前年度より増加していた。公共料金の値上げや猛暑や気候による電気の利用の増加もあるが、節電、節水の意識を高められるように、今後も継続して呼びかけていきたい。</p>